

平成 25 年 2 月 26 日

各 位

農林漁業の 6 次産業化支援に向けた『地域ファンド』組成への参画について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長兼 CEO：里村 正治）は、フィデアグループの株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫）、株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉）及び株式会社みちのく銀行（本店：青森市、頭取：杉本 康雄）、株式会社東北銀行（本店：盛岡市、頭取：浅沼 新）の 4 行が連携するとともに、株式会社みずほフィナンシャルグループ（本社：東京都千代田区、社長：佐藤 康博）と連携し、農林漁業の 6 次産業化支援を目的とした総額 20 億円程度の「農林漁業成長産業化ファンド」の「地域ファンド」組成に向け協議を行ってまいります。

本ファンドは、昨年 8 月に成立した農林漁業成長産業化支援機構法に基づき農林水産大臣の認可を前提に組成される「地域ファンド」であり、6 次産業化に取り組む農林漁業者等に対して出資やハンズオン支援（経営支援）を行うものです。

本ファンドは、平成 25 年度上期の組成を計画しており、その特徴は、東北地方各地域に強固な基盤を持つ地方銀行と、グローバルなネットワークを持つみずほグループが連携して生産から加工、流通、販売までを総合的かつ有機的に結び付けるネットワークを構築する点にあります。

農林漁業はこれからの日本経済をけん引する成長産業として注目されており、とりわけ東北地方では、雇用機会の創出、地域活性化のみならず東日本大震災からの復興における重要な産業分野と位置付けられています。

本ファンドを活用することで、潜在力のある農業コンテンツを発掘するとともに、販売チャネルを開拓し「農業」・「観光」・「食」を結びつけて、多様な付加価値を創出し、地域の農林漁業発展、成長力強化に寄与できるものと考えております。

なお、東北一円を視野に入れた地域経済活性化の企画運営を担う新たな体制整備も検討いたします。

以上